

WOLF連携医療情報化のご提案

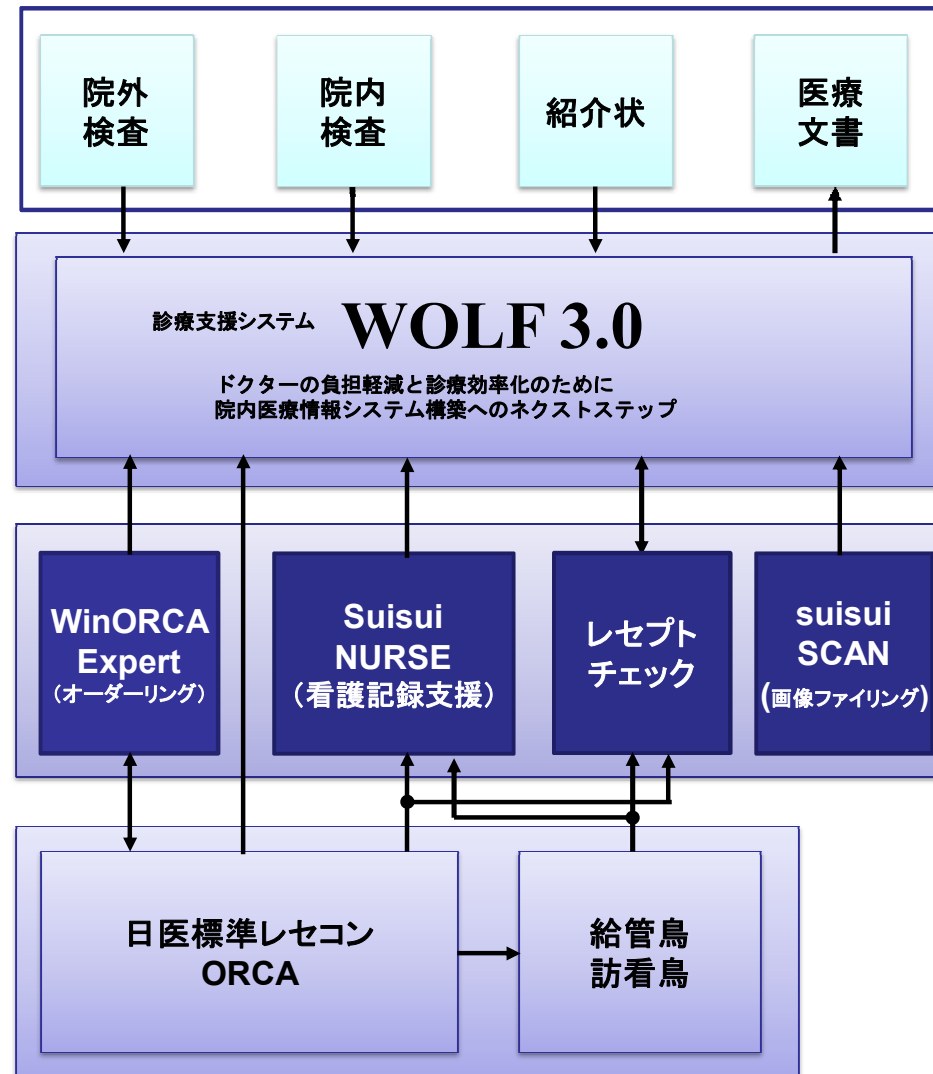
【診察の流れ】

医療情報化 要求事項	電子 カルテ	提案 システム
1. 受付	○	○
2. 問診	○	◎紙運用継続
3. 診察・カルテ	○	◎紙運用継続
4. 検査結果	○	○
5. 処置行為	○	○
6. 病名	○	○
7. 予約	○	○
8. 会計	△	○

【機能】

医療情報化 要求事項	電子 カルテ	提案 システム
医療文書	○	○
画像管理	○	○
院内／院外検査	○	○
看護記録	△	○
病名点検	×	○

紙カルテを残したままで病院・診療所における医療情報化を実現します



診療支援システム **WOLF 3.0**
 ドクターの負担軽減と診療効率化のために
 院内医療情報システム構築へのネクストステップ

- ①医療情報化＝電子カルテは錯覚です。
- ②使い慣れた紙カルテで院内の情報化は実現できます。
- ③厚労省の電子カルテ規則に縛られず、受付から検査・処置・診療・予約・会計がシームレスに繋がります。



メディカルドメイン(株)



SFKメディカル(株)

WOLF連携医療情報化メリット

■ 先生の手間を省く

- 紙カルテのまま、院内業務フローを変えない
- レセコンのデータを活用
- 検査情報の取込
- 各種文書作成
 - ・ ドクタの勤務時間の大きな部分を削減
 - ・ 医師会館に膨大な複写伝票のストック

■ デジタル化するメリット

- 再利用性
- 検索性
- 情報共有
- 電子的指示箋で確実な伝達